

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2023年度を最終年度とする中期経営計画「令和. Prosperity2023」に掲げる「売上高1兆円」、「営業利益率8%以上」を2022年度において1年前倒しで達成しました。2023年度は当社創立100周年の年であり、更なる成長に向けて、パワーエレ事業、パワー半導体事業の拡大を中核とする「成長戦略の推進」、グローバルでのものづくり力強化による「収益力の更なる強化」、及び、ESG（環境、人財、ガバナンス）を中心とした「経営基盤の継続的な強化」を引き続き推し進めるとともに、外部環境変化への適応力を一層強化し、売上・利益の拡大を目指しています。

当第1四半期連結累計期間における当社を取り巻く市場環境は、カーボンニュートラルやデジタル化に向けた投資の拡大を背景に、自動車の電動化、省エネ、デジタルインフラ等の継続したニーズの高まりにより、製造業やデータセンター等の設備投資が堅調に推移しました。その一方で、中国における設備投資は引き続き低調に推移した他、世界的な金融引締め等により、先行きが不透明な状況が継続しました。

このような環境のもと、当社は、拡大する需要に対応したパワー半導体の生産能力増強や、顧客需要に対応した生産体制の最適化、部材調達における地政学リスクやサプライチェーンの混乱影響の極小化に向けた取り組みを継続して実施しました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績の売上高は、全ての部門が増加し、前年同期に比べ302億円増加(15%増加)の2,341億円となりました。

損益面では、原材料価格及び動力費の高騰影響や、研究開発費、生産能力増強に係る費用の増加があったものの、物量の増加に加え、製品販売価格の値上げや原価低減の推進、為替影響等により、営業損益は前年同期に比べ48億円増加の147億円となりました。経常損益は前年同期に比べ28億円増加の151億円、親会社株主に帰属する四半期純損益は前年同期に比べ24億円増加の123億円となり、売上高、営業損益、経常損益、親会社株主に帰属する四半期純損益いずれも、過去最高を更新しました。

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は次のとおりです。

(単位：億円)

	2023年3月期 第1四半期連結累計期間	2024年3月期 第1四半期連結累計期間	増減
売上高	2,039	2,341	302
営業損益	99	147	48
経常損益	123	151	28
親会社株主に帰属する 四半期純損益	99	123	24

部門別の状況

《パワーエレ エネルギー》

売上高：580億円（前年同期比 13%増加） 営業損益：44億円（前年同期比 5億円増加）

エネルギーマネジメント分野及び施設・電源システム分野の需要拡大を主因に、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

- ・エネルギーマネジメント分野は、産業向け変電機器及び電源機器の大口案件の影響等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・施設・電源システム分野は、国外のデータセンター及び半導体メーカ向け案件の増加により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・器具分野は、セットメーカ及び半導体製造装置関連の需要減少等により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。

《パワエレ インダストリー》

売上高：762億円（前年同期比 17%増加） 営業損益：▲3億円（前年同期比 15億円増加）

オートメーション分野、設備工事分野及びITソリューション分野の需要増加等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

- ・オートメーション分野は、低圧インバータ等における部材調達難の緩和に伴う生産増や受注残の消化を主因に、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・社会ソリューション分野は、放射線機器案件の増加等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・設備工事分野は、空調設備工事の大口案件等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・ITソリューション分野は、公共及び文教分野の大口案件等の需要増により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

《半導体》

売上高：511億円（前年同期比 11%増加） 営業損益：71億円（前年同期比 同水準）

- ・半導体分野は、電動車（xEV）向けパワー半導体の需要拡大により、売上高は前年同期を上回りました。営業損益は、パワー半導体の生産能力増強に係る費用の増加、原材料価格の高騰があったものの、売上高の増加により、前年同期と同水準となりました。

《発電プラント》

売上高：184億円（前年同期比 9%増加） 営業損益：9億円（前年同期比 8億円増加）

- ・発電プラント分野は、再生可能エネルギーの大口案件等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

《食品流通》

売上高：278億円（前年同期比 28%増加） 営業損益：32億円（前年同期比 15億円増加）

- ・自販機分野は、国内の需要拡大に加え、原価低減の推進等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
- ・店舗流通分野は、コンビニエンスストア向け店舗設備機器の改装需要拡大に加え、カウンター機材案件の増加により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。

《その他》

売上高：158億円（前年同期比 10%増加） 営業損益：10億円（前年同期比 3億円増加）

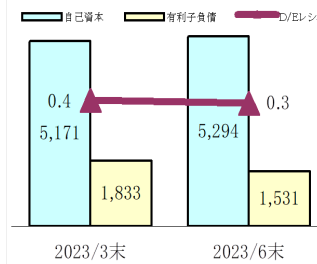
(2) 財政状態に関する説明

(単位：億円、倍)

	2023/3 末	構成比 (%)	2023/6 末	構成比 (%)	増減
総資産	11,816	100.0	11,326	100.0	△490
有利子負債残高	1,833	15.5	1,531	13.5	△302
自己資本	5,171	43.8	5,294	46.7	+123
D/Eレシオ	0.4		0.3		△0.1

*自己資本=純資産合計-非支配株主持分
*D/Eレシオ=有利子負債残高/自己資本

(単位：億円、倍)



当第1四半期末の総資産は11,326億円となり、前期末に比べ490億円減少しました。流動資産は、契約資産、棚卸資産が増加した一方、現金及び預金、売掛金の減少などを主因として、512億円減少しました。固定資産は、有形固定資産の増加などを主因として、22億円増加しました。

有利子負債残高は、当第1四半期末では1,531億円となり、前期末に比べ302億円の減少となりました。なお、有利子負債残高から現金及び現金同等物を控除したネット有利子負債残高は、当第1四半期末では1,050億円となり、前期末に比べ59億円の増加となりました。

純資産は、利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加などにより、当第1四半期末では5,823億円となり、前期末に比べ102億円の増加となりました。なお、純資産合計から非支配株主持分を控除した自己資本は前期末に比べ123億円増加し、5,294億円となりました。D/Eレシオ（「有利子負債残高」÷「自己資本」）は、前期末に比べ0.1ポイント減少の0.3倍となりました。なお、ネットD/Eレシオ（「ネット有利子負債残高」÷「自己資本」）は、前期末と同じ0.2倍となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結累計期間の連結業績動向等を踏まえ、2023年4月27日の決算発表時に公表した2024年3月期第2四半期連結累計期間及び2024年3月期通期の連結業績予想を修正することといたしました。

第2四半期以降の為替レートは、130円/US\$、145円/EURO、18.5円/RMBを前提としています。

(第2四半期連結累計期間)

(単位：億円)

	前回発表	今回発表	増減
売上高	4,660	4,740	80
営業損益	282	300	18
経常損益	255	275	20
親会社株主に帰属する四半期純損益	175	195	20

(参考：第2四半期連結累計期間 部門別)

(単位：億円)

	売上高			営業損益		
	前回発表	今回発表	増減	前回発表	今回発表	増減
パワエレ エネルギー	1,240	1,240	0	84	84	0
パワエレ インダストリー	1,590	1,600	10	26	30	4
半導体	1,050	1,050	0	150	155	5
発電プラント	300	310	10	8	0	△8
食品流通	480	520	40	38	50	12
その他	290	310	20	14	18	4
消去又は全社	△290	△290	0	△38	△37	1
合計	4,660	4,740	80	282	300	18

(通期)

(単位：億円)

	前回発表	今回発表	増減
売上高	10,500	10,600	100
営業損益	940	960	20
経常損益	920	945	25
親会社株主に帰属する当期純損益	625	645	20

(参考：通期 部門別)

(単位：億円)

	売上高			営業損益		
	前回発表	今回発表	増減	前回発表	今回発表	増減
パワエレ エネルギー	2,750	2,770	20	270	273	3
パワエレ インダストリー	3,780	3,820	40	295	302	7
半導体	2,210	2,250	40	328	338	10
発電プラント	830	830	0	42	42	0
食品流通	960	960	0	50	50	0
その他	600	600	0	34	34	0
消去又は全社	△630	△630	0	△79	△79	0
合計	10,500	10,600	100	940	960	20